



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1998～99年度 会長賞



国際ロータリークラブ会長 ジェームスL.レイシー

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基盤として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊敬されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

第554回 平成11年 5月21日(金)

〔本日のプログラム〕

1. 点	鐘	次 回 予 告	
2. ロータリーソング		★ 5月28日(金)	
「奉仕の理想」		会員卓話	
3. 食	事	福井 輝文君	
4. 会 長 の 時	間		
5. 幹 事 報	告		
6. 委 員 会 報	告	★ 6月 4日(金)	
7. 会 員 卓	話	6月のセレモニー	
	山脇 忍君	会員卓話	
8. 点	鐘	郡司 武俊君	

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会 長	加藤 仙之
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	福井 輝文
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷町3887-17	幹 事	吉田康一郎
	☎880-0212	会 計	恒吉 正志
	☎及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	垂水 敏雄

第 5 5 3 回例会記録

(1999. 5. 14)

☆会長の時間

会長 加藤 仙之君

皆さん今晚は、第2週の夜間例会です。先週の日曜日には、1999～2000年度のための国際ロータリー第2730地区の地区協議会に、福井次期会長を筆頭に14名で参加いたしました、ご参加頂きましたみなさんご苦労様でした。

1999～2000年度の、R. I. のテーマは、ロータリー2000:活動は—堅実、信望、持続、—であります。

カルロ・ラビッツア・1999～2000年度国際ロータリー会長は、21世紀にロータリーが確実に成功を収めるため、私たちの活動、決断にあたっては、堅実、信望、持続の基準を堅持しつつ、さあ行動を開始しましょう。

また、堅実・信望・持続を私たちの羅針盤として、新世紀のロータリーを待ち望みつつ、着実にこの好機に臨みましょう。と言うメッセージがありました。詳しい内容については福井会長からお話があるかと思えます。

午後からは、各部会毎に会場移動がありました。広報・雑誌部会、職業奉仕部会、社会奉仕部会、ロータリー情報部会、新世代部会は鹿屋商工会議所でありましたが、本会議場の

鹿屋市文化会館からは大変遠く車で15分程かかりましたが、街の中はあまり人通りはなく、ほとんどの店はシャッターが下りていて活気の無い街だなどと思いました。

その夜は、牧園町の、ホテル霧島キャッスルに1泊して、参加会員の親睦がおおいに図られました。

☆幹事報告

幹事 吉田 康一郎 君

皆様 今晚は

本日は5月第2金曜日の夜間例会です。

先程、会長からも報告がありましたが、5月9日(日)鹿屋で行われました地区協議会に参加致しましたが、町全体に活気がなく昔の鹿屋の面影がなくなってしまったな—とつくづく感じました。

協議会終了後、霧島キャッスルホテルに移動して佐土原RCの楽しい懇親会を行うことが出来ました。

久しぶりに皆様との心のふれあいを感じた一夜でした。

御出席されました皆様に、お礼申し上げます。

6月4日(金)市郡7クラブ新・旧会長・幹事会を佐土原RCの当番でおこないます。

場所はホテルオーシャン45の1階にあります『藍海』です。

何か、協議したい事項がありましたら、幹事までご連絡下さい。

☆出席報告

幹事 宮原 建樹 君

会 員 数	25名
例会出席者	18名
出席率	72%
マークアップ者数	4名
修正出席率	88%
欠席者名	神宮寺, 佐野, 宮本

☆会計報告

会計 恒吉 正志 君

皆様 こんにちは。

先週の地区協議会は大変疲れさまでした。

出席者の方々の交通費の件ですが出来ればクラブ会計から支出したいのですが宜しく検討お願い致します。

明細は

レンタカー	車代	30,000.
	燃料	9,000.
	高送料	4,500.
個人車両	燃料	2,500. × 3
	高送料	2,100. × 1
	高送料	2,600. × 2

計 ¥ 58,300

以上会計からでした。

☆次年度方針

会長 エクト 福井 輝文 君

1. 活動方針

国際ロータリー-1999~2000年
会長 カルロ・ラビッツァ 氏のロータリー-2000年活動目標、堅実・信望・持続に基き、活動していきたい。

2. 2730地区のガバナーノミニー

井上 繁君の指導のもとで問題点に努める。

◎会員増強と退会を止める。

◎女性会員の増強に努める。

3. 会のやり方を工夫する。



私の好きな言葉

ロータリーの友より

艱難汝を玉にす

昭和初期、戦中戦後の困窮生活を体験、現在、安穩な余生を得、感謝。

稚内南RC 野崎 謙治

子曰「人之生也直、罔之生幸而免」

正直に生きなければならない。不正直に生きていけるのは幸いにして免れているだけである。

佐世保北 松尾 辰二郎

誰にでも心から挨拶をし、どんな小さなことでも「ありがとう」と感謝し、誰にでも親切に、そして謙虚な気持ちで、今日も生きたい。

瀬来RC 大塚 信也



ハッピーボイス

誕生祝いをいただきまして、有り難う
ございました。

田村 清子

誕生祝いをいただき、大変ありがとう
ございました。

恒吉のり子

今年で40数回目を祝っていただき、
ありがとうございます。
佐土原ロータリークラブのますますの
発展を祈念いたします。

藤堂真由美

今日は誕生祝いをいただき、有り難う
ございました。

これからも元気でありたいと思いま
す。よろしく願いいたします。

佐野エイ子

思いがけない誕生日のお祝い、びっく
りしました。

ロータリークラブの皆様のあたたかい
心づかい、とてもうれしく思います。
ありがとうございました。

カボック大事に育てます。

江崎 紀代子

誕生のお祝いをいただき、ありがとう
ございました。

加藤 喜代子



【後進への遺産】

外山 三郎 著

『スギと共に六十年』

ロータリー 2月号

宮崎北クラブの外山三郎パストガバナ
ー（1985～86・元宮崎大学学長）
の著作集『スギと友に六十年』が199
8年7月、宮崎日々新聞社から発刊され
た。

著作集は、これまで研究と教育にかか
わってきた著者自身の生活を振り返って
の「半生記」である。

冒頭の「私の歩いてきた道」には「焦
らず騒がず信念に」と付記して所感を述
べているが、自分の生い立ち、学業のこ
と、就職までの道程をたどりつつ、スギ
の研究者、教育者としての本業を成し遂
げた記録が淡々と語られていて興味深い。
その中で周囲の人への気配りを忘れず、
人との出会いを大切にしてきたこと、私
的なことより公的なことを、より大事に
していくことへの配慮は、思いやりと信
念の人をうかがわせている。

しかも職業を本位にしながらも、時には
音楽、茶道、海外旅行で人と交わりつ
つ、自分自身、家族の楽しみも忘れてい
ない。こんな生活の姿は若輩の私た
ちの範となるものである。

ロータリーのことも入会以来の多くの
経験が語られている。

この本書は、後進のものへの大切な遺
産と呼ぶに値するものである。

また、宮崎に住むものには、郷土愛の
書として、読者に共感をあたえずにはお
かないであろう。

宮崎北RC 福富 健男